



観客に踊りを披露

ランタンフェスティバル

2/22 ~ 3/6

海を渡った仲之町の山車

台湾北部の桃園市で開催された「2016台湾ランタンフェスティバルin桃園」で、市内にある山車の中で最も古い仲之町の山車が曳き廻されました。ランタンフェスティバルは、毎年1,000万人以上が来場する台湾最大級の観光イベントで、台湾各地で毎年持ち回りで開催されます。ことは2月22日～3月6日に開催され、桃園市からの参加要請で本市が千葉県代表として参加。22日はパレードでの山車の曳き廻しのほか、メインステージでのパフォーマンスを行い、開催期間中はPRブースを設置し、成田の魅力を来場者に伝えました。



ステージでの獅子舞



もっとリズミカルに



スタートは腰の位置が大事

スポーツ教室

2/21

順大生が1日講師に

順天堂大学の運動部の学生が講師となって中学生にスポーツの基礎を教える「スポーツ教室」が公津の杜中学校で開催されました。21回目を迎える今回は陸上競技教室。市内各中学校の陸上部員約120人が、短距離、中・長距離、ハードル、走り幅跳び、走り高跳び、砲丸投げの各種目に分かれ指導を受けました。また、各中学校陸上部の顧問の先生たちは、モントリオール五輪走り高跳びの代表で、同大学陸上競技部監督の越川一紀さんに指導方法などのアドバイスを受けました。



多くの聴衆が聴き入るパネルディスカッション

医療シンポジウム

現状と課題を分かりやすく

2/14

本市に医学部を新設する計画が認められたことを受け、日本の医療の現状と問題を考える「医療シンポジウム」がスカイタウンホールで開催されました。医師不足など地域医療が抱える問題や、行政や医療機関が取り組むべき課題について、基調講演やパネルディスカッションが行われました。約140人の聴衆はメモを取るなどしながら真剣に耳を傾けていました。

久住地区歴史ウォーキング

好奇心そそる史跡巡り

2/27

市内にある史跡を、講師の解説付きで歩いて巡る「歴史ウォーキング」が各地区で開催されました。久住地区では、約4kmの道のりを3時間かけて歩きました。巡った史跡は、市川團十郎祖先居住の碑、延命院の地藏菩薩、幡谷城跡、名馬塚などで、中には、地元でもあまり知られていないものも。参加者は、講師の解説に聴き入ったり、質問したりしていました。



昭和39年に11代目市川團十郎が建てた石碑を見学



白河市民号の参加者ら

福島県白河市との交流事業

ようこそ成田へ

2/27

白河市長を団長とする「白河市民号 成田山新勝寺参拝と春の房総満喫の旅」一行が本市を訪れ、白河市民との交流事業が成田山新勝寺総門前広場で行われました。平成26年に本市が「東北復興支援・成田市民号」を開催した際にも白河市と交流事業を行っています。交流事業では、市観光キャラクター・うなりくんなどによる出迎えや、両市長の記念品の交換、お土産の配布が行われました。

はしご車・救急車

2台を入れ替え

市では、ポンプ車・化学車・救急車などの消防車両43台を配備し、日夜市民の生命・身体・財産を守っています。はしご車1台と救急車1台が劣化したため、車両を入れ替えしました。新しい車両には最新機器が装備されているため、効率的な消火・救助・救急活動による地域防災力の強化が期待されます。



新たに配備されたはしご車と救急車